

小・中・高 年	名前
------------	----

火山防災ペーパークラフト作りに参加して感じたこと

【1】火山のペーパークラフトを作ってみて、どうでしたか。選んで丸をつけてください。

1. 大変やさしかった
2. やや、やさしかった
3. やや、むずかしかった
4. 大変むずかしかった

【2】次回のペーパークラフト教室に参加したいと思いますか。選んで丸をつけてください。また理由があったら書いて下さい。

1. 参加したい
2. どちらかという、参加したい
3. どちらかという、参加したくない
4. わからない

理由 ()

【3】「参加したい」または「どちらかという、参加したい」と答えた人は、次回にどのような自然災害のペーパークラフトが作りたいですか。丸をつけてください。

1. 日本や世界の有名な火山 (火山の知識)
2. 津波からのがれよう (津波の知識)
3. 地震に自信 (地震の知識)
4. ペーパークラフトの地形・色など全てを自分で考えて作りたい
5. その他 ()

【4】「どちらかという、参加したくない」と答えた方は、どうしたら興味が持てるようになると思いますか。もしアイデアがあったら教えてください。

【5】参加して感じたことを自由に書いてください。

ペーパークラフト作りにご参加いただきましてありがとうございました・・・

防災ペーパークラフトは防災チャレンジプランの事業の一環で行われています。
【富士山安全まちづくりネット】TEL 0555-22-0092

チャレンジプラン「ペーパークラフトによる防災教育」

アンケートの集計と今後の課題

【実施日】 2005年10月25日

【実施時間】 午後2時～午後4時

【実施場所】 暁星国際学園小・中・高等学校

【参加者】 14名 (小学生4名、中学生4名、高校生5名、教務1名)

【回答者】 10名 (小学生4名、中学生2名、高校生4名)

(1) 作ってみてどうでしたか？

	人数	やさしかった	やや やさしかった	やや むずかしかった	むずかしかった
小3	1		1		
小5	1			1	
小6	2			2	
中2	2			2	
高1	1			1	
高2	1			1	
高3	2			1	1
計	10		1	8	1
	100%		10%	80%	10%

- 様々な難易度のペーパークラフトを開発が求められる。
- 年長者と年少者をペアにした。年長者によっては、自分の物以外にも一つの制作にかかわった場合もあると思われる。最年少者が「やや、やさしかった」と答え、最年長者が「むずかしかった」と答えているのはこのような理由もあろう。

(2) また参加したいと思いますか？

	人数	参加したい	どちらかという 参加したい	どちらかという 参加したくない	わからない
小3	1	1			
小5	1	1			
小6	2	2			
中2	2	1	1		
高1	1	1			
高2	1		1		
高3	2	1	1		

計	10	7	3		
	100%	70%	30%		

- 「(また)参加したい」と「どちらかというに参加したい」で100%になるが、興味のある子供を募集したので、当然の結果とも言える。この興味を伸ばして、自然現象への理解と防災への理解を深めていけるような環境を用意したい。

(3) 次回に作りたいものがありますか？

	人数	火山	津波	地震	自由課題
小3	1		1		
小5	1	1			
小6	2		1	1	
中2	2	2	1	1	1
高1	1	1			
高2	1	1	1	1	
高3	2	2		1	
計	10	7	4	4	1
	100%	44%	25%	25%	6%

- 様々なテーマを開発していくことが求められる。
○ 自由課題については、取り組み易いような条件を整える必要がある。

【また参加したい理由】

K君(小6) もっと自然やかんきょうをまなびたいから。

【感じたこと】

- Mさん(小3) 楽しかったです! また、ぜひやりたいです。
- Mさん(小5) とても楽しかったです。
- K君(小6) ぼくは昔大きなじしんがきて、どうしようと思いペーパークラフト作りに参加してみて、いろいろと火山防災のべんきょうができてよかった。
- Oさん(小6) 作ってみてすごく楽しかったし、火山についてのちしきも付いたので、またこのような会があったら参加したいです。でもまだ地形や色を自分で考えて作るのには自信がないのでみんなで同じものを作りたいです。
- H君(中2) セントヘレンズのことは、よく分かったけれど、どう防災に関連するかがよく分からなかった。
- M君(高1) 実際に自分で作ることによって火山を身近に感じる事ができたので良かった。
- H君(高3) 面白かった。あのペーパークラフトはどのようにして作ったのかと思った。
- Y君(高3) 普段あまり関わる事のない生徒たちと作ることができ、地震に対す

る知識が身についたことが良かったと思う。またよろしくお願いします。

【回答から課題を探る】

1. 楽しかった、面白かった

1、2、4、7で「楽しかった、面白かった」という自由回答があるが、今回の『ペーパークラフトによる防災教育』の目的でもある。あえて「楽しかったですか?」という4択設問はしなかった。

2. ペーパークラフトと防災教育との関連性とは

火山や津波は、発生してから災害が起こるまでに時間差がある。この時間差や危険度についての知識があるかないかで生死を分けることがある。災害は不測の事態が起きる。総合的な知識があれば不測の事態にも対応できる。自然現象の知識があれば、応用が利くが求められる。ペーパークラフトはあくまでも一つの教育手段である。防災教育に模造紙、或いはプロジェクターとパワーポイントを使うことがあるのと同じである。ペーパークラフトだからこそ伝えられるもの、できることがある。印象的なペーパークラフトづくりとその時に受けた防災教育が記憶のどこかでつながることもあると思われる。大事に飾っておいて、自分でたまたま防災意識を思い起こすことや、ペーパークラフトにより家族との防災についてのコミュニケーションを図ることも目的であるからである。

3. やや難しかったが、楽しかった

ひとつ興味深いことがある。それは、「やや、むずかしい」とうマイナスイメージが80%であるが、小学生の75%が「楽しかった」、100%が「また参加したい」というプラスの回答を得ていることである。

ペーパークラフトが簡単に作れて、より多くの時間を防災知識に費やすのも良いのだが、一方、多少作るのが難しくても、完成した時の達成感や、飾って置きたくなるようなペーパークラフトにすることも実はねらいとしてある。

【まとめ】

サンプル数が少ないので、このアンケート結果で全てを推しはかる事はできないが、ペーパークラフトによる防災教育の方向性が少し見えると思われる。

「やや作るのがむずかしかったけれど、楽しいのでまた参加してみたい」というのが大体の感想のようである。防災教育は一回で完結するものではない。昨今子供達の安全は脅かされている。防災のみならず防犯や交通安全など総合的な安心安全な環境作りが求められている。次の世代を担う子ども達が21世紀をより豊かで安心安全に生活するためにペーパークラフトが多少でも役立つならば有り難いことである。

富士山安全まちづくりネット 早川 宏

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 2-7-5 TEL 0555-22-0092